

ファイルコンバータ

NR-CNV4 ver 1.0

クイック・スタート・ガイド



① 初期設定の準備

ファイルコンバータ本体の初期設定を行います。
初期設定を行うための PC を1台ご用意ください。

① 初期設定用の PC を接続



初期設定用 PC と、NR-CNV4 を LAN ケーブルで直結します。



HUB を介して接続しても構いません。

② 初期設定用 PC の IP アドレスの設定

NR-CNV4 の工場出荷時の IP アドレスは、192.168.11.5 です。

そこで、初期設定用の PC の IP アドレスを、192.168.11.10 に設定しておきます。



初期設定用の PC のアドレスは、NR-CNV4 と同一セグメント内であれば、何でも構わないのですが、ここでは、192.168.11.10 とします。

③ NR-CNV4 の電源を入れます。

NR-CNV4 の背面の電源ボタンを押して、電源を入れます。

ピープ音が鳴り、起動処理が始まります。

前面の青い PWR ランプの点滅が点灯に変わったなら起動準備完了です。



電源ボタンを押してから、起動準備が完了するまで、約1分くらい必要です。

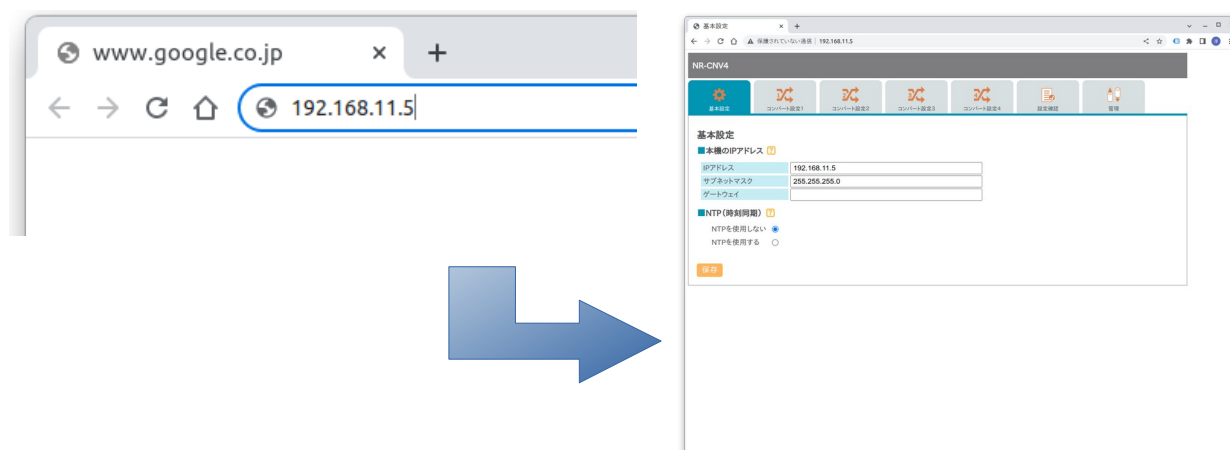


④Web ブラウザを起動します。

初期設定用の PC で Web ブラウザを起動します。

Web ブラウザは、Microsoft Edge, Google Chrome, Firefox など、ほとんどのブラウザに対応しています。

Web ブラウザのアドレス欄に、NR-CNV4 の IP アドレス 192.168.11.5 を入力して確定します。NR-CNV4 の設定画面が表示されると準備完了です。



設定画面が表示されない! こんな時は?



PC から、NR-CNV4 に ping は通りますか?



PC のアドレスは、NR-CNV4 と同じセグメントにありますか?



過去に NR-CNV4 の設定を行ったことがある場合、NR-CNV4 の本体アドレスが変更されている可能性があります。背面のリセットスイッチを長押しして、工場出荷時設定に戻してください。



NR-CNV4 は正常に起動処理が完了していますか?

前面の PWR のランプが点滅している時は、起動処理が完了していません。

点灯に変わるまで待ってください。

赤く点灯している場合は、NR-CNV4 の設定に異常があります。

背面のリセットスイッチを長押しして、工場出荷時設定に戻してください。

② 初期設定

Web 設定画面を通して、NR-CNV4 の初期設定を行います。

ここでは、

NR-CNV4 の IP アドレス

IP アドレス	192.168.0.30
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	指定なし

NTP サーバー 使用しない

コンバート設定

検査機器 1台 (広角眼底カメラを想定)

ファイル出力先 192.168.0.50/polling

ログインユーザー user

パスワード password

画像サイズ変更 50%の画像サイズに変更

フォーマット変換 JPEG

命名規則変換

名前_生年月日_性別_撮影日_撮影時刻_モード_左右眼_ID_通番



ID_撮影日_撮影時刻_モード_左右眼_通番

という運用を前提とします。

① 基本設定

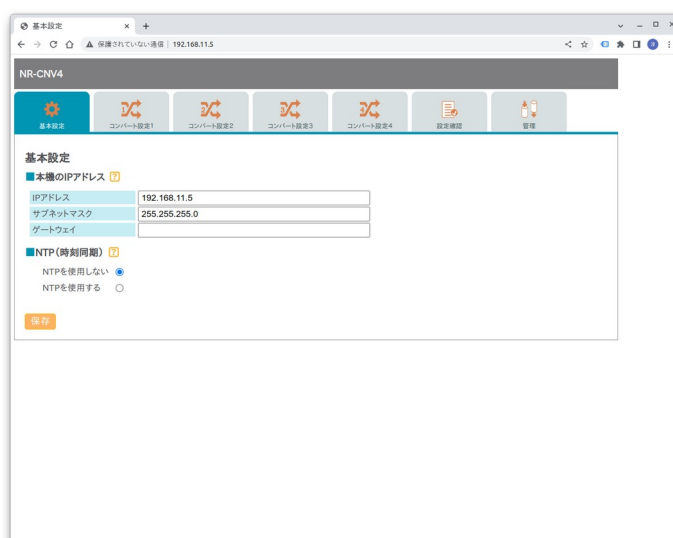
NR-CNV4 本体の IP アドレスと NTP の設定を行います。

IP アドレスに 192.168.0.30

サブネットマスクに 255.255.255.0

を入力し、NTP は「使用しない」を選択します。

入力内容に間違いがないことを確認したら、「保存」ボタンをクリックしてください。





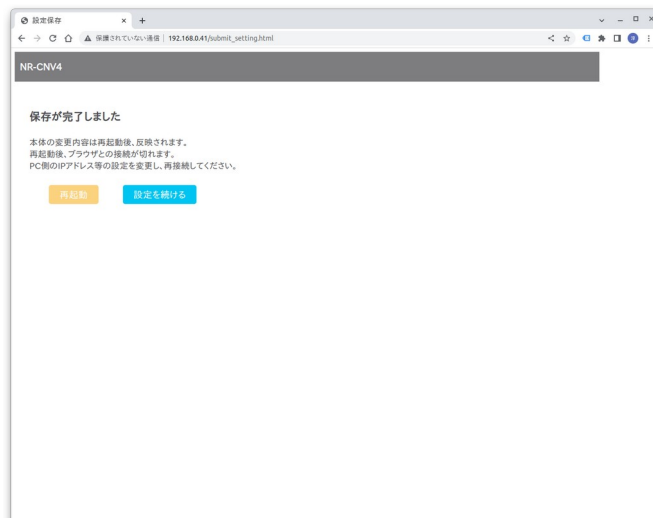
「保存」ボタンをクリックすると、保存が完了した旨を通知する、下図の画面に遷移します。

この画面には、「再起動」ボタンと「設定を続ける」のボタンがあります。

ここでは、「再起動」のボタンを押さないほうが効率的です。

設定した IP アドレスは、再起動しなければ、本機に反映されませんが、ここで再起動してしまうと、本機の新しい IP アドレスに合わせて、設定用の PC の IP アドレスも変更する必要があります。

一連の設定を全て完了してから、再起動を実施するのが、作業効率を上げるポイントです。従って、ここでは、「設定を続ける」ボタンをクリックしてください。



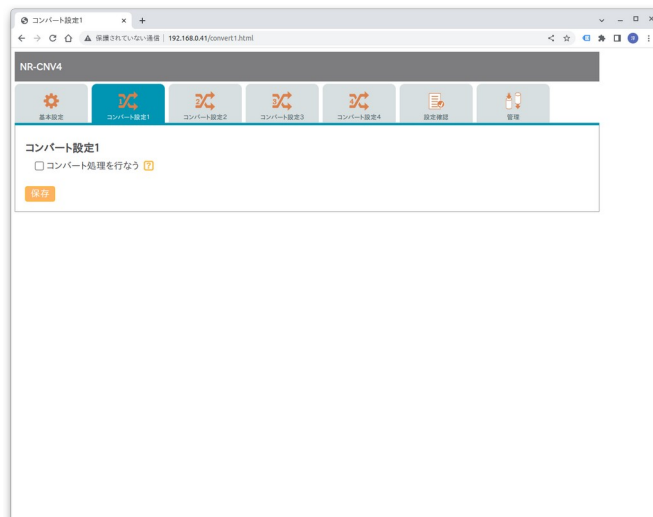
②コンバート設定

コンバート処理の詳細を登録します。

検査機器が1台ですので、「コンバート設定1」のページに、詳細を登録します。

「コンバート設定1」のタブをクリックしてページを切り替えます。

「コンバート処理を行う」にチェックを入ると、詳細を登録する画面が展開されます。



各項目を順に登録します。

■ ファイル受信フォルダ

ファイル受信フォルダは固定です。
NR-CNV4は「share」という共有フォルダをLAN上に公開しています。
「コンバート設定1」のコンバート処理を実行するには、「share」フォルダ内の「data1」フォルダに検査機器からの画像データを出力してください。

「ログインユーザー」と「パスワード」は、通常、空白で構いません。

The screenshot shows the 'コンバート設定1' (Convert Settings 1) page in a web browser. The page has a navigation bar with '基本設定' (Basic Settings) and four 'コンバート設定' (Convert Settings) tabs. The main content area is titled 'コンバート設定1' and contains several sections:

- ファイル受信フォルダ** (File Reception Folder): 'share/data1 (固定)' (Fixed).
- ログインユーザー** (Login User): [Empty field]
- パスワード** (Password): [Empty field]
- ファイル転送先フォルダ** (File Transfer Destination Folder): [Empty field]
- ログインユーザー** (Login User): [Empty field]
- パスワード** (Password): [Empty field]
- 画像サイズ変更** (Image Size Change): '変更しない' (Don't change).
- フォーマット変換** (Format Conversion): 'JPEG'.
- JPEG品質** (JPEG Quality): '90'.
- PDF解像度** (PDF Resolution): '400'.
- 回転** (Rotation): 'しない' (None).
- 命名規則変換** (Naming Rule Conversion): [Empty field]
- 入力ファイル命名規則** (Input File Naming Rule): [Empty field]
- 出力ファイル命名規則** (Output File Naming Rule): [Empty field]

At the bottom right, there is a '保存' (Save) button.

■ ファイル転送先フォルダ

コンバートした結果の画像を出力するフォルダを指定します。電子カルテやファイリングシステムの共有フォルダを指定します。
ここでは、「//192.168.0.50/polling」を入力します。
このフォルダへの認証情報として、「ログインユーザー」と「パスワード」を正しく登録します。

■ 画像サイズの変更

「画像サイズ変更」のプルダウンメニューで「%指定」を選択し、値として「50%」を選択します。

■ フォーマット変換

出力画像の形式として、「JPEG」を選択します。

■ JPEG 品質

通常、90%で充分です。

■ PDF 解像度

通常、400DPIが適当です。

PDFから変換する場合や、逆にPDFに変換する場合に適用されます。

■ 回転

「しない」を選択します。

■ 命名規則

入力データのファイル命名規則が、

「名前_生年月日_性別_撮影日_撮影時刻_モード_左右眼_ID_通番」

であるとする、

[NAME]_[BIRTH]_[GENDER]_[DATE]_[TIME]_[MODE]_[EYE]_[ID]_[NUM]

と定義します。

出力ファイルの命名規則を、

「ID_撮影日_撮影時刻_モード_左右眼_通番」

としたいので、出力ファイル命名規則に、

[ID]_[DATE]_[TIME]_[MODE]_[EYE]_[NUM]

と定義します。

「コンバート設定1」の内容を登録したら、「保存」ボタンをクリックします。

保存完了を通知する画面に遷移します。ここで、「再起動」ボタンをクリックしてください。

NR-CNV4 がビープ音とともに再起動し、登録した全ての設定が本機に反映されます。



「コンバート設定」を登録した後、再起動する前に、登録した内容をバックアップしておくると便利です。登録内容の間違いなどで、NR-CNV4 が起動しなくなり、やむなく工場出荷状態に戻した場合、せっかく設定した内容が初期化されてしまいます。バックアップを取っておけば、簡単に復元できます。設定データのバックアップ、復元は、「管理」ページから行えます。



再起動には、約30秒ほどかかります。前面の青い PWR ランプが点滅から点灯に変わったら正常に再起動完了です。

赤いランプが点灯した場合、「本体設定」の IP アドレスなどの設定に誤りがあります。



再起動後は、本機の IP アドレスが、設定した新しい値に変更になっています。

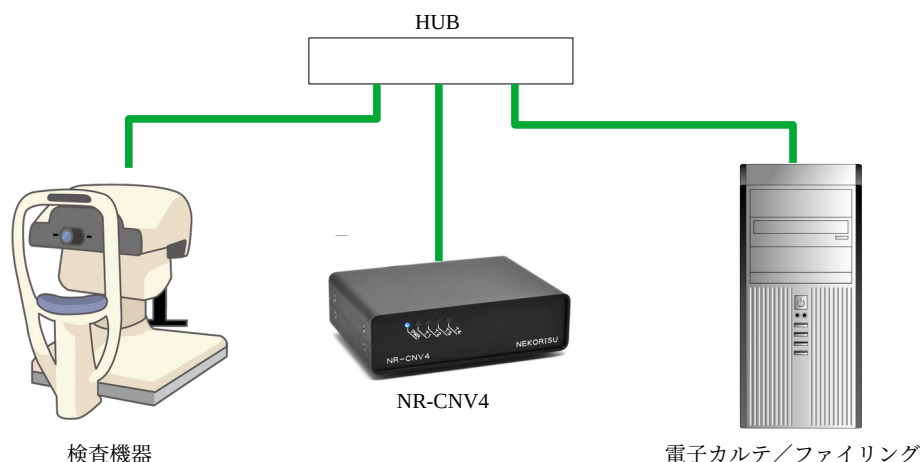
従って、設定用 PC の IP アドレスも変更し、セグメントを合わせなければ接続できないことにご留意ください。

③運用

検査機器と電子カルテ／ファイリングシステムを接続して、実際にコンバート処理を実行します。

①設置

検査機器と、電子カルテ／ファイリングシステム、NR-CNV4 を同一ネットワーク上に設置します。



②検査機器からデータを出します。

NR-CNV4 は、ネットワーク上に、「share」という名の共有フォルダを公開しています。
この中の「data1」というフォルダに、検査機器からのデータを出してください。

検査機器から出力できない！ こんな時は？



検査機器から、NR-CNV4 に ping は通りますか？
LAN の配線、検査機器の IP アドレスをご確認ください。



検査機器の OS の状態によっては、エクスプローラーのネットワーク一覧に、NR-CNV4 が表示されない場合があります。このような場合、例えば OS が Windows であれば、Windows 画面下の「スタート」ボタンにある検索枠に、
¥¥NR-CNV4 の IP アドレス¥share （例: ¥¥192.168.0.30¥share）
と検索すると表示できます。
先頭の「¥」2つは必須です。(Windows の場合、「/」ではなく「¥」を使います。)

③コンバート処理が実行されます。

検査機器からのデータが届くと、NR-CNV4 は自動的にコンバートを開始します。
コンバート処理中は、前面のランプが黄色く点灯します。

ブザーが鳴って、赤いランプが点灯する! こんな時は?



「ファイル転送先フォルダ」の設定が正しくない可能性があります。

NR-CNV4 がコンバート処理を行ったデータを、電子カルテ／ファイリングシステムに出力しようとした際、出力先のフォルダに正しく接続できない場合、エラーとなります。

「ファイル転送先フォルダ」の設定が正しいかご確認ください。

転送先の指定は、「//192.168.0.50/polling」のように「/」が2つから始まらなければいけません。

また、共有フォルダ名やサブフォルダ名も「/」で区切って、正しく指定する必要があります。



「ファイル転送先フォルダ」に接続するための、「ログインユーザー」、「パスワード」が正しく設定されているかご確認ください。



電子カルテ／ファイリング側の PC で、正しく共有設定されているかご確認ください。

検査機器から、直接電子カルテ／ファイリングシステムの当該共有フォルダに接続してみて、正常に接続できるか確認すると、問題の切り分けができる場合があります。



命名規則の設定が正しくない可能性があります。

「入力ファイル命名規則」と、実際に検査機器から送られたデータのファイル名の命名規則が一致しない場合、エラーとなります。

また、「出力ファイル命名規則」の設定において、「入力ファイル命名規則」で定義されたタグ名と一致しない場合もエラーとなります。



エラーの原因が特定できない場合は、ログを参照して原因を調べることができます。

Web 設定の「管理」画面からログファイルをダウンロードすることができます。

④電子カルテ／ファイリングシステムにデータが転送されます。

NR-CNV4 がコンバートした結果は、「ファイル転送先フォルダ」に指定された電子カルテ／ファイリングシステムの共有フォルダに転送されます。

電子カルテ／ファイリングシステム側で、適宜、データを取り込んでください。

④最後に

このクイックスタートガイドでは、設置に必要な手順を、例を上げて簡単に説明しました。トラブルが起きた際や、疑問が発生した場合のヒントを中心に記述しています。NR-CNV4 の仕様の詳細や、Web 設定画面の各項目の詳細につきましては、「NR-CNV4 運用マニュアル」を併せてご参照ください。

お問い合わせ

NEKORISU

株式会社 NEKORISU

愛媛県松山市竹原2丁目16-2 アルファステイツ竹原8 F

TEL: 050-8806-9823

Mail: sales@nekorisu-embd.com